

本ニュースリリースは、アドビ システムズ 株式会社と株式会社大塚商会との共同発表です。  
重複して配信される場合がございますが、あらかじめご了承ください。



2006年1月24日  
アドビ システムズ 株式会社  
株式会社大塚商会

## アドビ システムズと大塚商会、 新製品「Adobe Acrobat 3D」の製造業、建設、建築業向け 販売推進で協力

### 3D モデルを Adobe PDF に変換し、活用した安全性の高い 電子文書による業務効率化を提案

アドビ システムズ 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：ギャレット イルグ（Garrett J. Ilg）以下、アドビ システムズ）と 3D CAD の世界最大のリセラーでありソリューションプロバイダの株式会社大塚商会（本社：東京都千代田区、社長：大塚 裕司 以下、大塚商会）は本日、製造業、建設、建築業向け電子文書作成、編集、管理ソフトウェア「Adobe® Acrobat® 3D 日本語版」の販売促進で協力すると発表しました。

Adobe Acrobat 3D は、特異性のある 3D モデルを Adobe Acrobat 3D により PDF 化し、世界中で利用されている無償の Adobe® Reader™ の機能を活用することにより、これまでよりも迅速、安全かつ安価に 3D モデルを含む重要な情報の共有と業務のコラボレーションを可能にします。たとえば、設計時の社外関係者とのやり取りの円滑なコミュニケーションや製品マニュアルへの効果的な CAD 図面再利用など、多岐にわたる業務の効率化が期待できます。大塚商会は、Adobe Acrobat 3D を利用し、同社の文書管理コンセプトである ODS21（Otsuka Document Solutions 21 for open knowledge office）製品群との連携で更なる業務の効率化を提案するとともに、情報セキュリティコンセプトである OSM（Otsuka Security Management）関連製品とも連携したセキュアな運用を提案いたします。また、大塚商会は、Adobe Acrobat 3D を大手製造業、建設・建築業の自社ユーザに先行試用、検証していただき、その検証結果を元に、企業個別の業務ニーズを反映させたソリューションの開発、提供体制を整備します。

本協力により、アドビ システムズは、3D CAD 販売会社として最大手の大塚商会が製造業、建設・建築業を対象に展開する Adobe Acrobat ファミリー製品の導入促進にむけ、技術サポートおよび販売促進支援をおこないます。大塚商会は、Adobe Acrobat 3D の最適なソリューション提供のため、CAD 関連販売部隊内に Adobe Acrobat 3D の導入サポート、活用コンサルティング体制を構築します。また、既に構築済みの Adobe 製品専任プロモーション部隊がアドビ システムズと連携することで、ライセンス導入から技術的サポートまで、ユーザ企業への一貫したフォロー体制で販売を推進します。

本協力に基づき、大塚商会は 2006 年度通期における Adobe Acrobat 3D を含む Adobe Acrobat ファミリー製品群の販売目標数を 50,000 本とする事を計画しております。

東京地区を皮切りに 2 月 8 日から全国で開催する、大塚商会「実践ソリューションフェア 2006」にて同製品の製品紹介セミナーを展開する※とともに、大塚商会主催アドビ

システムズ協賛にて、同製品を利用した一歩進んだソリューションを紹介する「Adobe Acrobat 3D Birthday セミナー」を東京 2 月 24 日、中部 3 月 2 日、大阪 3 月 3 日にて開催いたします。詳細は、<http://www.otsuka-shokai.co.jp/event/> をご参照ください。

※地区によっては開催しない場合もございます。

アドビ システムズ 株式会社 代表取締役社長 ギャレット イルグは、「日本市場での Adobe Acrobat 3D の提供に際し、CAD 販売実績で最大手の大塚商会との販売協力が実現したことをうれしく思います。製造業および建設、建築業では、2D 図面、3D モデルを含む文書の電子化による情報の共有が課題となっています。ユビキタスな Adobe Reader と Adobe Acrobat 3D の活用で、社内、社外と安全性の高い情報共有が可能となり、製造業、建設・建築業における業務効率の向上に貢献します」と述べています。

株式会社大塚商会 常務取締役兼上席執行役員 片倉 一幸（かたくら かずゆき）は、「製造、建設業界においては、サプライヤーまで含めて、安心かつスピーディーにデジタルデータを活用することが今後の課題となっています。今回、業務効率の大幅な改善を約束する Adobe Acrobat 3D をお客様にご提供できることを心から嬉しく思います。Adobe Acrobat 3D を活用することで、Microsoft® Word や Excel、画像ファイルに加え、CAD データも 1 つの PDF ファイルに取りまとめることが可能となるため、企業における情報の共有化に大きく進めることになるでしょう。当社は関連会社であるテンアートとも連携し、JavaScript を利用した動的マニュアル作成ソリューションを展開します」と述べています。

### **Adobe Acrobat 3D について**

Adobe Acrobat 3D は、3D モデルを Adobe PDF に取り入れて業務に活用することで、ユーザ側での CAD アプリケーションの有無を問わず効率的で安全なコミュニケーション、コラボレーションを行うためのツールです。3D CAD ファイルを簡単に Adobe PDF に変換でき、また、3D モデルを埋め込んだ PDF にコメントや注釈を付与できます。また、Adobe Acrobat 3D では、権限付 PDF を作成することで、無償の Adobe® PDF® 閲覧、印刷ソフトウェア Adobe Reader のユーザもコメントのやりとりに参加が可能です。さらに、Adobe® LiveCycle™ Policy Server を組み合わせて利用することで、Adobe PDF にセキュリティポリシーを付与することができるため、2D 図面や 3D モデルを Adobe PDF としてセキュリティを保持しながら、情報の共有が可能となります。詳細情報は、<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/main.html> をご覧ください。

### **アドビ システムズ社について**

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザのアイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.co.jp/> に掲載されています。

### **株式会社大塚商会について**

大塚商会は、昭和 36 年の創業以来一貫して、お客様の情報化、業務効率化を支援して参りました。特定のメーカーにとらわれないマルチベンダ対応とオフィス用品から IT 機器全般まで幅広く提供するマルチフィールド対応により、ワンストップソリューションを推進、国内最大級のソリューションプロバイダとして、アドビ製品ならびに CAD ソリューションを多数提供しています。